

日本農業技術検定への協賛企業・団体への応募の推奨について

東京農業大学客員教授
元東京大学大学院教授
日本学術会議会員
日本農業賞中央審査委員長
大杉 立

日本農業技術検定は平成19年度から実施して平成28年度で丸10年目を迎えました。これまでに19万3千人が受験し、今年の受験予定者を見込むと20万人を突破することになります。

私は本制度の立ち上げから協力してまいりましたが、本検定は農業高校生や新規就農希望研修生のほか、公立の農業大学校生、国公立の4年制大学農学部学生、農協の営農指導員の方々に必要な農業生産・経営技術の修得を通じて我が国農業界の人材育成に大いに貢献してきました。

また、こうした意義が評価されて農林水産省および文部科学省から毎年本検定の実施に後援をいただいております。

これまで本検定は農業教育に関連する全国13団体による日本農業技術検定協会を組織して実施して参りましたが、発足10年を経過し更なる展開を目指して、当協会はこうした取り組みの必要性に理解をいただける企業・団体にもお声掛けをして、協賛企業・団体（原則無料）として参加していただくという取り組みを始めるとのことです。

どうか日本の農業・関連産業を支える貴重な人材育成の必要性についてご理解をいただき、本検定の応援団の一員になっていただけますようご一考いただけますと幸いです。

平成29年8月吉日